

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和4年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和4年11月24日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

令和4年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和4年度第3回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和4年11月24日(木) 14:00~15:30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

3 出席委員(五十音順)

城戸 将江、古林 節子、田籠 亮博、樋上 弥寿子、森江 由美子

4 議事

(1) 令和4年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 令和4年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和4年度第2四半期に契約をした工事の中から、森江委員が10件(契約課契約分8件、上下水道局分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、共同企業体を可とした理由と入札内容を知りたく抽出した。

(答) 3億円を超える大型工事で、工事内容や技術的特性を勘案して、技術力の結集による効果的・安定的な施工の確保が必要なため、単体ではなく、市内の土木Aランク業者2者による共同企業体方式を採用した。参加申請は5共同企業体で、1者が辞退のため、4者による競争となった。落札業者の入札金額は2位で、価格以外の評価点が1位、これらを総合した評価値で1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による造園工事で、共同企業体を可とした理由と入札内容を知りたく抽出した。

(答) 2億円を超える大型工事で、技術力の結集を要する造園工事であるため、市内の造園Aランク業者2者による共同企業体方式を採用した。参加申請は5共同企業体で、1者が不参加のため、4者による競争となった。落札業者の入札金額は3位で、価格以外の評価点が1位で、これらを総合した評価値で1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、共同企業体を可とした理由と入札内容を知りたく抽出した。

(答) 高品質・高精度な工法であるアルティミット工法を採用した工事であり、施工に際しては高度な施工管理、安全管理、品質管理等が必要となるため、市外業者を含めた十分な技術力を備えた2者による共同企業体による入札とした。参加申請は1共同企業体のみで、その1者が落札業者となった。

(問) 総合評価、一般競争入札による電気工事で、大型工事であるため入札内容を知りたく抽出した。

(答) 複数の施設へ電気を送る大規模設備の工事であり、難易度も高いため、総合評価落札方式を採用した。また、技術力の結集を必要とすることから、共同企業体方式を可としているが、特殊な設備であり、単体の方が好ましい場合は単体でも可とする混合方式で入札を行った。参加申請は1者のみで、その1者が落札業者となった。

(問) 総合評価の評価項目の中で、施工計画について工事によって点数の差があるので、理由を知りたい。

(答) 総合評価落札方式には、簡易型、標準型、WTO型とあり、それぞれの型で施工計画の設問数の設定に違いがある。

また、各型の中でも工事内容によって、安全管理、工程管理、品質管理、周辺環境対策等についての所見を求める設問数が違うため、点数の差が出ることになる。

(問) 一般競争入札による土木工事で、共同企業体を可とした理由と入札内容を知りたく抽出した。

(答) 標準的な道路の築造及び宅地整備の工事であるが、JR線に近接する地区であり、他に上下水道管やガス管敷設工事も行われており、重機の接触や転倒回避などを考慮しつつ区画整理事業を計画通りに行うためには、共同での技術力結集による施工が必要なことから、共同企業体による入札とした。参加申請は12共同企業体で、最低制限価格を上回った業者の中で最も低い価格の業者が落札業者となった。

(問) 一般競争入札による土木工事で、参加者数が48者と多いため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 標準的な道路の築造及び宅地整備の工事であり、JR線から少し離れていて規模も大きくないため、参加申請が48者と多くなった。

(問) 一般競争入札による土木工事で、落札率が高いため入札内容を知りたく抽出した。

(答) 法面を補強する一般的な土木工事である。ランダム係数が高かったため、応募者19者のうち13者が最低制限価格を下回り失格となった。最低制限価格を上回った業者で最も低い価格の業者が2者いたため、くじにより落札業者を決定した。

(問) 指名競争入札によるとび土工工事で、落札率が高いため入札内容を知りたく抽出した。

(答) 令和3年の大雨により被災した市営住宅の擁壁等の復旧工事である。市内業者は6者で少なく、競争性を確保するため市外業者も含め9者による指名競争入札とした。9者のうち2者が辞退、7者が応札した。最低制限価格を下回った業者2者が失格となり、3番目に低い価格の業者が落札業者となった。この落札価格が予定価格に近い金額であったため、落札率が高くなった。

(問) 指名競争入札による土木工事で、落札率が高いため入札内容を知りたく抽出した。

(答) 市内の土木BCランク業者29者による指名競争入札を行った。応札者は7者であったが、ランダム係数が高かったため6者が最低制限価格を下回った。落札業者の入札価格が予定価格と同額であったため、落札率が100%となった。

(問) 随意契約による機械器具設置工事で、落札率が高いため契約内容を知りたく抽出した。

(答) ごみ処理工場の溶融炉等の修繕工事で、設計・作製・据付・調整等の一連の作業を行うものである。本設備の設計、製作者でしか保有できない高度な特殊技術、知識を必要とし、短期間で確実な履行ができる1者との特命随意契約となった。見積金額が予定価格に近かったため、落札率が高くなった。